

TOASTMASTERS
INTERNATIONAL



スピーチコンテスト 規則集

2021年7月1日~2022年6月30日



リーダー養成の場

TOASTMASTERS INTERNATIONAL

www.toastmasters.org

© 2020 Toastmasters International. 不許複製・禁無断転載。

Toastmasters International、Toastmasters International のロゴ、およびその他すべての Toastmasters International の商標および著作権は、Toastmasters International の独占所有物であり、許可なしに使用することはできません。

目次

はじめに.....	4
スピーチコンテスト規則.....	5
すべての Toastmasters スピーチコンテスト向けの一般的規則.....	5
国際スピーチコンテスト規則	16
論評コンテスト規則	18
ユーモアスピーチコンテスト規則	18
テーブルトピックス (Table Topics®) コンテスト規則.....	18
ほら話コンテスト規則	19
ビデオスピーチコンテスト	19
スピーチコンテストチェックリスト.....	21
コンテスト委員長用チェックリスト.....	21
審査員長用チェックリスト	24
出場者用チェックリスト.....	25
スピーチコンテスト資料.....	26
追加リソース	28

はじめに

スピーチコンテストは、Toastmasters 教育プログラムの重要な部分です。スピーチコンテストは、トーストマスターがスピーチ体験を積む機会を提供するだけでなく、スピーチに秀でたトーストマスターを観察して学ぶ機会を提供します。

本書は、国際、論評、ユーモア、テーブルトピックス、ほら話の各スピーチコンテストを実施する際の規則および標準手順を記しています。スピーチコンテストを実施したり参加したりする場合、記載された規則をよく読んでそれに従ってください。規則を順守することで、公正なスピーチコンテストを開催し、誰もが楽しめるイベントにすることができます。

本書は3部構成です:

- ▶ **スピーチコンテスト規則。**すべての Toastmasters スピーチコンテストを規定する総則はもちろん、国際、論評、ユーモア、テーブルトピックス、ほら話の各スピーチコンテスト専用の規則も記載されています。
- ▶ **コンテストチェックリスト。**スピーチコンテストを準備する際にコンテスト委員長、審査員長、および出場者に必要ないくつかの共通ステップを紹介します。
- ▶ **スピーチコンテスト資料および追加リソース。**Toastmasters スピーチコンテストに関する Web ページ、およびその他の役に立つ資料の一覧です。

注:国際会長、次期国際会長、および最高執行責任者の承認の下、管理規定により1年に1回規則の変更が行われます。変更箇所は左の余白にマーク(◆)で示されます。

スピーチコンテスト規則

すべての Toastmasters スピーチコンテスト向けの一般的規則

別段の規定がない限り、Toastmasters International クラブ、エリア、ディビジョン、ディストリクトが主催するすべてのスピーチコンテストはもちろん、国際大会で実施されるすべてのコンテストには、以下の規則が適用されます。

1. スピーチコンテストポリシー

- A. Toastmasters International が公認し、サポートする公式スピーチコンテストは以下のとおりです。国際、論評、ユーモア、テーブルトピックス、ほら話、および、ビデオによるコンテスト(テリトリアル評議会と暫定ディストリクトを含む、ディストリクトに所属しないクラブの会員のみ対象)。その他のコンテストタイプ、ショーケース等は、ディストリクト(エリアとディビジョンを含む)によって開催されないものとします。
 - 1. ディストリクト(エリアとディビジョンを含む)は、国際スピーチコンテストを開催しなければなりません。国際スピーチコンテストは英語のみで開催されなくてはなりません。
 - 2. ディストリクト(エリアとディビジョンを含む)は、各年、追加の英語によるスピーチコンテストを3回まで開催することができます。
 - 3. また、ディストリクト(エリアとディビジョンを含む)は、各年、英語以外の言語による(以下、「非英語」)スピーチコンテストを4回まで開催することができます。
 - a) これらのコンテストはそれぞれディストリクト幹事によって選択され、ディストリクト役員会により承認された言語で開催されます。
 - ◆ b) 非英語コンテストの開催は任意で、論評、ユーモア、テーブルトピックス、ほら話コンテストとして、また、国際スピーチコンテストの規則を使用して開催することができます。国際スピーチコンテストの規則を使用して開催する非英語コンテストには、その言語名を入れた題名を付けなくてはなりません。例: 中国語スピーチコンテスト。
 - c) 非英語コンテストはディストリクトレベルを超えては続行されないものとします。
- B. すべてのディストリクトレベルのスピーチコンテストは、年次ディストリクト大会でのみ行われます。
- C. コンテストはクラブレベルで開始され、エリアレベル、ディビジョンレベル、ディストリクトレベルへと各レベルを進んでいく必要があります。また、この進行に従うコンテストのみが、エリア、ディビジョン、またディストリクトレベルで許可されます。コンテストの言語、あるいはクラブの主要言語にかかわらず、すべてのクラブは、すべての出場者をエリアレベルへと進める資格があります。
- D. 国際大会において準決勝レベルまで勝ち進んだ国際スピーチコンテスト出場者各人の旅費は、Toastmasters International が負担します。旅費は、ディストリクトリーダーにおけるものと同様の方法で計算され、また同様の制限の対象となります。
- E. スピーチコンテスト規則集は規約であり、すべての公式トーストマスターズスピーチコンテストに適用されます。規則への変更は、管理規定検討プロセスに従う場合のみ可能です。例外は認められません。

- F. コンテストへの個別入場料は、聴衆参加者およびコンテスト役員に対して請求することができますが、出場者に対しては、コンテストに出場するための料金を請求することを禁じます。出場者をコンテストに送り出すための料金をクラブに対して請求することを禁じます。

2. 出場資格

- A. Toastmasters 公式スピーチコンテストに出場する資格を得るためには、会員は以下の要件を満たさなければなりません。
1. 出場予定のコンテストが開催されるエリア、ディビジョン、ディストリクトにあるクラブに所属する会費納入済会員であること。
 - a) 所属するクラブもまた会費を納入済みでなければなりません。
 - b) 新規会員、重複会員、および復帰会員は、会費と会員申込書を世界本部に提出している必要があります。
 - ◆ 2. すべてのコンテストのすべてのレベルで出場資格を有すること。
 - a) それ以前のレベルで出場者に出場資格がなかったということが、いずれかのレベルで判断された場合、失格となります。出場資格のない事が後のレベルで発覚した場合、それが是正済みであっても、失格となります。
 - B. また、国際スピーチコンテストに出場する資格を得るためには、会員は以下の要件を満たさなければなりません。
 1. 「コンピテントコミュニケーション」マニュアルにおける6つのプロジェクト、または Toastmasters Pathways 学習経験におけるいずれかのコースのレベル1および2の修了証を取得済みであること。
 - a) ただし、クラブの設立認可を受けてからクラブコンテストの開催までの期間が1年未満のクラブの設立メンバーは、この要件を満たさなくても出場が許可されます。クラブは、エリアコンテストの開催前までに正式に設立認可を受けていなければなりません。
 - b) 各自の地域で Pathways の公開前に Toastmasters に入会した会員のみが、「コンピテントコミュニケーション」マニュアルのスピーチを、スピーチコンテストの出場資格に適用できます。
 - C. 以下の方は、Toastmasters スピーチコンテストに出場する資格を有しません。
 1. 現職の国際役員および国際ディレクター
 2. リージョンアドバイザーまたはリージョンアドバイザー応募者
 3. 任期が6月30日で切れるディストリクト役員：
 - a) ディストリクト・ディレクター
 - b) 教育担当ディレクター
 - c) クラブ担当ディレクター
 - d) ディストリクト総務マネージャー
 - e) ディストリクト財務マネージャー
 - f) ディストリクト広報マネージャー
 - g) ディビジョン・ディレクター
 - h) エリア・ディレクター
 4. 国際役員および国際ディレクターの候補者
 5. 前ディストリクト・ディレクター
 - ◆ 6. 7月1日から任期が始まるポジションのディストリクト役員または候補者

7. 以下の条件に該当する、コンテスト役員またはプレゼンターの役割を務めている会員：
 - a) ディストリクトを問わず、クラブレベルより上のコンテストで、自分が出場予定のコンテストと同じ種類のコンテストの投票審査員、同点決着審査員または審査員長。
 - b) 自分が出場予定のコンテストの計時係、集計係、会場担当役員、またはその他のコンテスト役員。
 - c) エリア、ディビジョン、ディストリクト、国際大会などの、コンテストが開催されるイベントで行われる教育セッションのプレゼンター、コンテスト委員長、コンテスト司会者、またはコンテストが開催されるイベントのイベント委員長。
 8. 毎年8月開催の国際大会で行われる World Championship of Public Speaking® (パブリックスピーキング世界チャンピオン大会)の勝者は、以後どのレベルの国際スピーチコンテストにも再び出場できません。
 9. 国際大会で発表されるビデオスピーチコンテストの勝者は、それ以降ビデオスピーチコンテストに参加する資格はありません。ビデオスピーチコンテストの勝者は、その他の出場資格要件を満たせば、以降の年に開催される国際スピーチコンテストに出場できます。
 10. 複数のクラブに所属する会員は、すべての出場資格要件を満たしていれば、会費納入済の各クラブのコンテストに出場できます。
 - a) 同じ種類のスピーチコンテストに2つ以上のエリアで出場することはできません。エリアが異なるディビジョンまたはディストリクトに属する場合でも同様です。
 11. 各出場者は、クラブレベルを超えて出場する場合、実際に出席する必要があります。音声、動画、またはその他のリモート技術による参加は、クラブレベルを超えては認められません(例外：国際スピーチコンテストのリージョン準々決勝およびビデオスピーチコンテスト参加者)。
- D. Toastmasters スピーチコンテストで審査員長、投票審査員または同点決着審査員を務めるには、以下に示されるすべての出場資格を満たす必要があります。
1. クラブコンテストでは、会費納入済会員であること。
 2. エリア、ディビジョン、またはディストリクトコンテストでは：
 - a) 最低6か月の会費納入済会員であること。
 - b) 「コンピテントコミュニケーション」における6つ以上のスピーチプロジェクト、または Toastmasters Pathways のいずれかのコースのレベル1および2の修了証を取得済みであること。
- ◆
1. 各自の地域で Pathways の公開前に Toastmasters に入会した会員のみが、「コンピテントコミュニケーション」マニュアルのスピーチを審査員資格に適用できます。
 - c) 自分がその職を務めているコンテストに本人自らが出席していること。
3. 国際スピーチコンテストのリージョン準々決勝、準決勝および World Championship of Public Speaking (パブリックスピーキング世界チャンピオン大会)
 - a) 最低6か月の会費納入済会員であること。
 - b) 少なくともアドバンス・トーストマスター・ブロンズまたはアドバンスコミュニケーション・ブロンズであること、あるいは Toastmasters Pathways 学習経験における1コース以上を完了済みであること。

- ◆ 1. 各自の地域で Pathways の公開前に Toastmasters に入会した会員のみが、「コンピテントコミュニケーション」マニュアルのスピーチを審査員資格に適用できます。
- c) エリア、ディビジョン、ディストリクト、または準決勝レベルで過去に Toastmasters スピーチコンテストの審査員を務めたことがあること。
- E. 他のすべてのコンテスト役員および論評コンテストのテストスピーカーは、有料会員である必要があります。
- ◆ F. 来る7月1日から任期が始まるディストリクトリーダーのポジションの候補者は、エリア、ディビジョン、またはディストリクトレベルのテストスピーカーを務める資格はありません。

3. 選抜手順

- ◆ A. クラブ、エリア、ディビジョン、ディストリクト。参加資格のある各クラブは、エリアのスピーチコンテストの出場者を、それぞれ独自の方法で選ぶことができます。クラブのコンテストを開催する場合は、本規則集の規則を順守しなければならず、コンテスト結果は最終決定となります。コンテストはエリア、ディビジョン、およびディストリクトレベルで開催しなければなりません。エリアスピーチコンテストの勝者は、ディビジョンコンテストに進みます。ディビジョンの勝者はディストリクトコンテストに進みます。
- 1. 10以上のディビジョンが属するディストリクトでは、ディストリクトコンテスト決勝戦の前にディビジョン優勝者を2組に分け、ディストリクト最終戦出場者決定戦を開催できます。
 - a) それぞれの組の最終戦出場者決定戦に出場するディビジョンの数は、可能な限り同じにします。
 - b) 各決定戦から上位3名の出場者がディストリクトコンテストに進みます。決定戦の結果の順位は発表されません。
- 2. クラブ、エリアまたはディビジョンコンテストの勝者が次のレベルのコンテストに参加できない場合、コンテストへ参加可能な最も上位の出場者がそのレベルに進みます。
- 3. ディストリクトレベルの次の段階であるリージョン準々決勝、準決勝および World Championship of Public Speaking（パブリックスピーキング世界チャンピオン大会）より上のレベルで開催されるコンテストは、国際スピーチコンテストだけです。
- 4. 国際スピーチコンテストのリージョン準々決勝出場者が準決勝ラウンドに出場できない場合は、世界本部から次点の参加者に連絡があります。
- B. エリアコンテストの8週間前の時点で、エリアに割り当てられた参加資格のあるクラブ数が4以下の場合、ディストリクトは、各クラブから2名ずつエリアコンテストに出場可能とすることもできます。
 - 1. エリアコンテストの前に追加クラブが設立認可を受けた場合、各クラブから2名の出場者が出場を許可されます。
 - 2. 割り当てられたエリアの数が4以下のディビジョンの場合、ディストリクトは、各エリアから上位2名の出場者をディビジョンコンテストに出場可能とすることもできます。
 - 3. 割り当てられたディビジョンの数が4以下のディストリクトの場合、ディストリクトは、各ディビジョンから上位2名の出場者をディストリクトコンテストに出場可能とすることもできます。

4. クラブからエリア、エリアからディビジョン、ディビジョンからディストリクトへ、2名の出場者が進むことを許可するかどうかは、コンテストサイクルの開始前(クラブコンテストの開催前)に決めてディストリクト全体に伝えなければなりません。
 - a) 決定したら、影響を受けるすべてのクラブ、エリア、およびディビジョン全体でそれを一貫して実施しなければなりません。
 - b) ディストリクトが、クラブからエリアコンテストへの出場者を2名とした場合でも、エリアからディビジョンもしくはディビジョンからディストリクトに進むコンテスト出場者の数を同様にする必要はありません。
- ◆ 5. 出場者が1名だけのコンテストが開催される場合もあります。その場合もコンテストの開催は必要です。出場者が時間制限、独創性、出場資格要件を満たさない場合は失格となります。

4. スピーチのテーマと準備

- A. すべての国際、ユーモア、およびほら話スピーチコンテスト用のスピーチのテーマは、出場者が選ぶ必要があります。
- B. テーブルトピックスコンテストのスピーチのテーマは、本書の「テーブルトピックスコンテスト」の記載に従い、コンテスト委員長が決定するものとします。
- C. 論評コンテストスピーチのテーマは、本書の「論評コンテスト」の記載に従い、テストスピーカーのスピーチの口頭での論評に限定される必要があります。
- D. コンテスト出場者は、独自のスピーチを作成する必要があり、各スピーチは完全に独自のものである必要があります。
 1. スピーチの25%以下を、引用、言い換え、または本人以外による内容の言及に使うことができます。内容が引用されたもの、言い換えされたもの、または本人以外による内容の言及である場合は、スピーチの発表時にその旨を明らかにする必要があります。
 2. 各コンテスト出場者は、すべてのコンテストの前に、審査員長に対し、「Speaker's Certification of Eligibility and Originality (スピーカーの適格性および独創性証明書) (英語版のみ)」(アイテム 1183)を使用し、スピーチの内容が完全に独自のものであることを書面で証明する必要があります。
- E. 出場者は同じコンテストに参加している別の出場者、または別の出場者が発表したスピーチについて、演壇から言及してはいけません。
- F. すべての出場者は、コンテスト委員長が指定する同じ演壇またはスピーキングエリアからスピーチを行います。
 1. すべての出場者、審査員長、投票審査員および同点決着審査員には、コンテスト開始前にスピーキングエリアが伝えられます。
 2. 演台/演壇が提供されますが、その使用は任意です。
 3. 拡声器が必要な場合は、演台/演壇に据え付けられたマイクと持ち運び可能なマイクを提供するものとします。
 4. コンテストを開始する前に、出場者が練習できるようにすべての機器を提供する必要があります。出場者は、紹介される前に演台/演壇のマイクやその他の機器を静かに自分の好みに合わせて調整しなければなりません。

5. 一般手順

- A. Toastmasters スピーチコンテストの各レベルでは、規定数の投票審査員と役員が必要になります。

1. クラブコンテストでは、特に不都合がなければコンテスト委員長1名、審査員長1名、5名以上の投票審査員、同点決着審査員1名、集計係2名、計時係2名が指名されます。
 2. エリアコンテストでは、エリア内の各クラブから同数の投票審査員、または少なくとも5名の投票審査員を置くものとします。これらの投票審査員のほか、コンテスト委員長1名、審査員長1名、同点決着審査員1名、集計係2名、計時係2名を指名しなくてはなりません。
 3. デイビジョンコンテストでは、デイビジョン内の各エリアから同数の投票審査員、または少なくとも7名の投票審査員を置くものとします。これら投票審査員のほか、コンテスト委員長1名、審査員長1名、同点決着審査員1名、集計係2名、計時係2名を指名しなくてはなりません。審査員長、投票審査員、および同点決着審査員は、出場者が所属するクラブの会員であってはなりません。
 4. ディストリクトコンテストでは、デイビジョン内の各エリアから同数の投票審査員、または少なくとも7名の投票審査員を置くものとします。これら投票審査員のほか、コンテスト委員長1名、審査員長1名、同点決着審査員1名、集計係3名、計時係2名を指名しなくてはなりません。審査員長、投票審査員、および同点決着審査員は、出場者が所属するクラブの会員であってはなりません。
 5. 国際スピーチコンテストのリージョン準々決勝には、最低9名の投票審査員と1名の同点決着審査員が必要です。前国際会長が全てのリージョン準々決勝の審査員長になります。前国際会長が審査員長を務められない場合は、第一副会長が過去の国際会長の中から任命します。投票審査員および同点決着審査員は、出場者と同じリージョンの会員であってはなりません。
 6. 国際スピーチコンテストの準決勝では、各ディストリクトから同数の投票審査委員、または少なくとも9名の投票審査委員を置く必要があります。これらの投票審査委員のほか、コンテスト委員長1名、審査委員長1名、同点決着審査委員1名、集計係3名、計時係2名が指名されます。審査員長、投票審査員または同点決着審査員は、出場者が所属するクラブの会員であってはなりません。
 7. パブリックスピーキング世界チャンピオン大会では、各リージョンを代表する投票審査員1名を置く必要があります。これらの審査員のほか、コンテスト委員長1名、資格要件審査員5名、同点決着審査員1名、集計係3名、計時係2名が指名されます。前国際会長がパブリックスピーキング世界チャンピオン大会の審査員長になります。前国際会長が審査員長を務められない場合は、第一副会長が過去の国際会長の中から任命します。審査員長、投票審査員、資格要件審査員、または同点決着審査員は、出場者が所属するクラブの会員であってはなりません。
 8. すべてのレベルの投票審査員は、可能な限り匿名性を守る必要があります。
 9. コンテスト委員長は、委員長の職務全般を遂行するためのコンテストトーマスターを指名することができます。その場合、「コンテストトーマスター」は「コンテスト委員長」と同義であるとみなされるものとします。また、コンテストトーマスターについても同様に、自らがその職を務めているコンテストに出場する資格はありません。
 10. コンテストの役員は、エリア(なるべく)、デイビジョン、ディストリクト、リージョンの準々決勝、準決勝、また決勝の各レベルにおいて、同じコンテストで複数の役割を務めることはできません。
- B. コンテストの前に、出場者はコンテスト委員長から規則の簡単な説明を受けます。コンテスト委員長立ち会いのもと、出場者はスピーチの順番を抽選で決めます。
- C. 出場者が説明会に不在の場合、代理スピーカーがいれば、正規出場者に代わり、説明会へ代理出席することが認められます。

1. コンテストの委員長が紹介されるときに正規出場者が不在の場合、正規出場者の出場資格が無効となり、代替出場者が正規の出場者となります。
 2. 説明会終了後、コンテスト委員長が紹介される前に正規出場者が到着した場合、その正規出場者は以下の条件を満たす場合に出場を許可されます。
 - a) 到着時にコンテスト委員長に報告する。
 - b) コンテスト委員長がコンテストを開始するために紹介される前に、すべての必要な書類を正しい形で準備していること。
 - c) 説明会の機会を放棄する。
- D. コンテストの前に、投票審査員、集計係、および計時係は審査員長からそれぞれの義務について簡単な説明を受けます。
1. 各投票審査員には、コンテスト用の適正な審査用紙が渡されます。
 - a) 国際スピーチコンテストの投票審査員は、「International Speech Contest Judge's Guide and Ballot (国際スピーチコンテスト審査員用引きと投票用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1172)を受け取ります。
 - b) 論評コンテストの投票審査員は、「Evaluation Contest Judge's Guide and Ballot (論評コンテスト審査員用引きと投票用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1179)を受け取ります。
 - c) ユーモアコンテストの投票審査員は、「Humorous Speech Contest Judge's Guide and Ballot (ユーモアコンテスト審査員用引きと投票用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1191)を受け取ります。
 - d) テーブルトピックスコンテストの投票審査員は、「Table Topics Contest Judge's Guide and Ballot (テーブルトピックスコンテスト審査員用引きと投票用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1180)を受け取ります。
 - e) ほら話コンテストの投票審査員は、「Tall Tales Contest Judge's Guide and Ballot (ほら話コンテスト審査員用引きと投票用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1181)を受け取ります。
 - f) すべての投票審査員および同点決着審査員は、「Judge's Certification of Eligibility and Code of Ethics (審査員の資格および倫理規定に関する証明書)(英語版のみ)」(アイテム 1170)を受け取ります。証明書に署名の上、審査員長に提出しなければなりません。
 2. 計時係は、「Speech Contest Time Record Sheet and Instruction for Timers (スピーチコンテスト計時記録用紙と計時係への指示事項)(英語版のみ)」(アイテム 1175)を受け取ります。必要に応じて、計時機器の適切な使用に関する説明書も受け取ります。
 3. 投票用紙集計係は、「Counter's Tally Sheet (集計係用集計用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1176)を受け取ります。必要に応じて、投票用紙の回収手順および集計室での手順も受け取ります。(下記参照)
- E. コンテストの前に、審査員長は同点決着審査員を務める会員を選出します。
1. 同点決着審査員の指名は秘密とし、審査員長のみが知ります。
 2. 同点決着審査員は審査員の説明会に出席しません。
 3. 審査員長は、コンテスト開始前に Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (同点決着審査員用引きと投票用紙)を同点決着審査員に提供する必要がありません。
 - a) 国際スピーチコンテストの同点決着審査員は、「International Speech Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (国際スピーチコンテスト同点決着審査員用引きと投票用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1188)を受け取ります。

- b) 論評コンテストの同点決着審査員は、「Evaluation Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot(論評コンテスト同点決着審査員用手引きと投票用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1179A)を受け取ります。
 - c) ユーモアスピーチコンテストの同点決着審査員は、「Humorous Speech Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot(ユーモアスピーチコンテスト同点決着審査員用手引きと投票用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1191A)を受け取ります。
 - d) テーブルトピックスコンテストの同点決着審査員は、「Table Topics Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot(テーブルトピックスコンテスト同点決着審査員用手引きと投票用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1180A)を受け取ります。
 - e) ほら話コンテストの同点決着審査員は、「Tall Tales Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot(ほら話コンテスト同点決着審査員用手引きと投票用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1181A)を受け取ります。
- F. 国際、ユーモア、およびほら話コンテストでは、各出場者を紹介する際に、コンテスト委員長は出場者の氏名、スピーチの題、スピーチの題、出場者の氏名を以上の順で発表しなくてはなりません。
1. テーブルトピックスコンテストでは、各出場者の紹介にあたって、コンテスト委員長は出場者の氏名、トピック、トピック、出場者の氏名を以上の順で発表しなくてはなりません。
 2. 論評コンテストでは、各出場者を紹介する時に、コンテスト委員長は出場者の氏名を2回発表しなくてはなりません。
- G. 国際、ユーモア、およびほら話コンテストの出場者は、コンテスト開催中、同じ会場にずっといることが許されます。
- H. 論評コンテスト出場者は、本書の「論評コンテスト」の記載に従い、テストスピーチの実施後に部屋から退去する必要があります。
- I. テーブルトピックスコンテストの出場者は、本書の「テーブルトピックスコンテスト」の項に記載されている通り、前の出場者がトピックへの応答を完了するまでは、会場に入ることはできません。
- J. 出場者がスピーチを行ってから次のスピーチが始まる前に、1分間の沈黙があり、その間に投票審査員および同点決着審査員が投票用紙に記入します。すべての投票審査員と同点決着審査員はすべての出場者を審査しますが、審査員長は出場者を審査しません。
- K. 最後の出場者がスピーチを終えたら、コンテスト委員長は投票用紙集計係がすべての投票用紙を回収するまで沈黙を求めます。
1. 投票用紙を有効にするため、審査員は以下のとおりに行動するものとします。
 - a) 1位～3位までの出場者を選別して投票用紙に記入します。
 - b) 投票用紙に自分の氏名を署名および活字体で記入します。
 2. 投票審査員が投票用紙に記入したら、投票用紙の下部を切り取り、提供された封筒に入れ、投票用紙集計係が集めるのを待つ必要があります。
 - a) 投票用紙の上部は投票用紙集計係に渡さず、コンテスト終了後に投票審査員が慎重に廃棄しなければなりません。
 3. 同点決着審査員はすべての出場者の順位を付け、審査員長はその記入済み投票用紙を自ら回収します。
 - a) 投票用紙の上部は審査員長に渡さず、コンテスト終了後に同点決着審査員が慎重に廃棄しなければなりません。

4. 投票審査員および同点決着審査員がコンテスト終了時に投票用紙に記入している間に、計時係は時間記録用紙に記入し、提供された封筒に入れ、審査員長に渡します。
- L. すべての投票用紙が回収されたら、投票用紙集計係と審査員長はコンテスト会場を出て、集計室へ移動します。
 1. 集計室では、投票用紙集計係が「Counter's Tally Sheet (集計係用集計用紙) (英語版のみ)」(アイテム 1176)を使用してコンテスト結果を一覧表に集計します。
 - a) Counter's Tally Sheet (集計係用集計用紙) (英語版のみ)では、投票審査員の投票用紙の1位～3位までのランクに従って各出場者にポイントが付けられません。
 1. 1位には3ポイント。
 2. 2位には2ポイント。
 3. 3位には1ポイント。
 - b) すべてのポイントが記入されると、投票用紙集計係は各出場者の合計ポイントを集計し、集計用紙の下部に合計を記入します。
 1. 結果を用紙に記入する前に、すべての投票用紙集計係が合計ポイントを再確認しなければなりません。
 2. その後、獲得ポイント数に従って集計用紙の下部に出場者の順位が付けられます。
 - c) 同点の場合は、審査員長が同点決着審査員の投票結果を参考とします。
 - d) 複数の出場者が同点だった場合、同点決着審査員の投票でより高いランクを受けた出場者が、他の出場者を押さえその順位を獲得します。他の同点出場者も同点決着審査員の投票順にランクされます。
 2. 結果を一覧にして確認したら、審査員長が全出場者のランクを「Notification of Contest Winner form (コンテスト勝者通知用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1182)に記録し、次のレベルのコンテスト委員長に送るか、ディストリクトレベルの国際スピーチコンテストの場合は、世界本部へ提出します。審査員長は逆順に勝者の氏名を「Results Form (結果用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1168)に記録し、コンテスト委員長に渡します。
 - a) すべての投票用紙と集計用紙は、勝者が発表されるまで審査員長が保管します。
 - b) 勝者の発表後、審査員長はすべての投票用紙、時間記録用紙、集計用紙を破棄します。
- M. 出場者インタビューの終了後、コンテスト委員長はコンテストの勝者を発表します。
 1. 出場者が3名以上のコンテストの場合、3位入賞者、2位入賞者そして優勝者の順番に発表します。勝者は逆順に発表されます。
 2. 出場者が3名未満のコンテストの場合、2位入賞者(該当する場合)および優勝者の順番に発表します。勝者は逆順に発表されます。
 - ◆ 3. 勝者の発表は、イベント終了前に行わなければなりません。
 - a) イベントの内容がコンテストだけの場合は、コンテスト終了前に勝者を発表しなければなりません。
 - b) 大規模なコンファランスやイベントの一部として複数のコンテストを開催する場合は、そのコンファランスまたはイベントが終了する前にすべてのコンテストの勝者を発表しなければなりません。

- ◆ 4. 1つのイベントで複数のコンテストを開催する場合は、進行中のコンテストの勝者がまだ発表されていなくても、次のコンテストを開始する前に、そのコンテストを正式に終了しなければなりません。
- 5. 国際スピーチコンテストのリージョン準々決勝では、準決勝に進む出場者の発表は順不同です。順位は発表されません。
- 6. 国際スピーチコンテストの準決勝では、World Championship of Public Speaking（パブリックスピーキング世界チャンピオン大会）に進む出場者の発表は順不同です。順位は発表されません。
- 7. 入賞者の発表をもって、コンテストの結果は最終となります。ただし、その発表に誤りがあった場合には、審査員長、投票用紙集計係、計時係がその誤りを指摘することが許されます。

6. スピーチの計時

- A. 審査員長によって2名の計時係が指名されます。片方にはストップウォッチが提供され、もう片方には緑、黄色、赤が表示できる計時装置が提供されます。
- B. 計時装置は各出場者に完全に見えるように設置しなければなりません。
- C. ストップウォッチ担当計時係は、「Speech Contest Time Record Sheet and Instructions for Timers（スピーチコンテスト計時記録用紙と計時係への指示事項）（英語版のみ）」（アイテム 1175）に各スピーチの経過時間を記録し、審査員長に提出します。
- D. タイムキープ担当計時係は、出場者がスピーチ中に適切なタイミングで正確な緑、黄色、または赤のシグナルを確認できるようにします。
- E. 出場者が行うすべてのスピーチは、コンテストの発表時間に関する手引きに準拠しなければなりません。
 - 1. 国際およびユーモアコンテストのスピーチ時間は5分から7分とします。スピーチが4分30秒未滿または7分30秒を超える場合、出場者は失格となります。
 - 2. テーブルトピックスコンテストのスピーチ時間は1分から2分です。スピーチが1分未滿または2分30秒を超える場合、出場者は失格となります。
 - 3. 論評コンテストのスピーチ時間は2分から3分とします。スピーチが1分30秒未滿または3分30秒を超える場合、出場者は失格となります。
 - 4. ほら話コンテストのスピーチ時間は3分から5分とします。スピーチが2分30秒未滿または5分30秒を超える場合、出場者は失格となります。
- F. 紹介されたら、出場者は速やかにスピーチ位置に移動する必要があります。
 - 1. 出場者が聴衆に向けて最初の発声またはジェスチャーのような声以外の語りかけを行うと、計時が始まります。通常、これは出場者の第一声になりますが、効果音、他の人の舞台上の行為など、その他のコミュニケーションも含まれません。
 - 2. スピーカーは、スピーキングエリアに立ったら速やかにスピーチを始めなければならず、コンテストの不必要な遅延は許されません。
- G. 計時係は、聴衆には見えなくてもスピーカーにははっきりと見えるように警告シグナルを出場者に提示するものとします。
 - 1. 国際およびユーモアコンテストの場合：
 - a) 5分経過後に緑のシグナルが点灯し、1分間継続します。
 - b) 6分経過後に黄色のシグナルが点灯し、1分間継続します。
 - c) 7分経過後に赤のシグナルが点灯し、スピーチが終了するまで継続します。
 - 2. 論評コンテストの場合：

- a) 2分経過後に緑のシグナルが点灯し、30秒間継続します。
 - b) 2分30秒経過後に黄色のシグナルが点灯し、30秒間継続します。
 - c) 3分経過後に赤のシグナルが点灯し、スピーチが終了するまで継続します。
3. テーブルトピックスコンテストの場合：
- a) 1分経過後に緑のシグナルが点灯し、30秒間継続します。
 - b) 1分30秒経過後に黄色のシグナルが点灯し、30秒間継続します。
 - c) 2分経過後に赤のシグナルが点灯し、スピーチが終了するまで継続します。
4. ほら話コンテストの場合：
- a) 3分経過後に緑のシグナルが点灯し、1分間継続します。
 - b) 4分経過後に黄色のシグナルが点灯し、1分間継続します。
 - c) 5分経過後に赤のシグナルが点灯し、スピーチが終了するまで継続します。
5. すべてのスピーチコンテストにおいて、時間オーバーのシグナルを提示してはなりません。
6. 視力の悪い出場者は、自分で選んだ形式の警告シグナルを要求することができます、それが提供されなければなりません。
- a) 警告シグナルとして認められるものには、5分、6分、7分の時点で時間を告げるブザー、ベル、または人などが挙げられます。ただし、これらの例に限られるものではありません。
 - b) 当該シグナル用の特別な機器および/または特定の手順が必要な場合は、出場者がそれを用意しなければなりません。
7. シグナルまたは計時装置が故障した場合、失格になる前にスピーカーには30秒の延長時間が認められます。
- H. 結果を発表する前に、コンテスト委員長は時間超過による失格が起こったかどうかを発表する必要があります。ただし、時間超過失格に該当する出場者の氏名は発表しません。

7. 抗議と失格

- ◆ A. 抗議は出場資格、独創性、および別の出場者のスピーチへの言及に限定され、申し立てを行えるのは投票審査員および/または出場者のみとします。抗議がある場合は、コンテストが終了する前に審査員長および/またはコンテスト委員長に申し立てる必要があります。
- B. 審査員長、コンテスト委員長、投票審査員、および出場者は、聴衆による抗議を考慮してはいけません。
- C. 独創性または別の出場者のスピーチへの言及を理由に失格となる前に、出場者には投票審査員に対して応答する機会が与えられなければなりません。失格の決定は、投票審査員の多数決をもってなされるものとします。
- D. コンテスト委員長は、出場資格に基づいて出場者を失格にできません。
- E. 投票審査員および資格要件審査員のすべての判断は最終決定となります。

8. 小道具の使用

- A. 小道具(あらゆる電子機器を含む)の使用を予定する出場者は、コンテストの前にコンテスト委員長に通知しなければなりません。
- B. 出場者は、小道具の使用に関する会場規制に従わなければなりません。
- C. すべての小道具は、紹介前の1分間の沈黙中にセットアップし、スピーチ後の1分間の沈黙中にステージから撤去しなければなりません。

1. 出場者は小道具のセットアップ作業を手助けしてくれるスタッフを登録できますが、その任命はコンテスト委員長またはその他のコンテスト役員の責任ではありません。
2. 出場者は、割り当てられた時間内に小道具のセットアップおよび撤去が可能であることを、コンテスト委員長に対してコンテスト開始前に実演しなければなりません。
 - a) 出場者がこれを実演できない場合、コンテスト中に小道具を使用できません。

国際スピーチコンテスト規則

国際スピーチコンテストは英語でのみ行わなければならないと、本書の「総則」に記載されるすべての規則に従います。また、以下の追加および例外事項が適用されます。

1. 国際スピーチコンテストはクラブレベルで開始され、エリア、ディビジョン、ディストリクト、リージョン準々決勝、準決勝、決勝の各レベルに進みます。

A. リージョン準々決勝の審査用として世界本部に提出されるディストリクトコンテストのビデオは、以下の要件を満たさなければなりません。

音声

▶ 音声は明瞭で、エコー、静電気またはその他の過剰なノイズがあってはなりません。

カメラ

▶ カメラは高解像度で撮影する必要があります。

▶ 1台のカメラのみ設定可能で、複数のカメラアングルの使用はできません。

▶ 安定性を保ち、不要な動きを防ぐために、カメラは三脚に取り付けなければなりません。

▶ カメラは、出場者を遮るものがなく、焦点の合った状態である必要があります。

▶ 録画中は最初から最後まで、スピーチエリア全体が見えなければなりません。

▶ 正しく録画されていることを確認するため、カメラ撮影者は常時カメラを監視し続ける必要があります。

▶ ズームは使用できません。

照明

▶ スピーチエリアは十分な照明で照らされている必要があります。

▶ スピーカーの顔の表情は、スピーチ全体を通して見えていなければならないと、映像は明るすぎても暗すぎてもいけません。

▶ 人工光または自然光にかかわらず、光がカメラに直接入ってはなりません。

動画の録画

▶ 動画には、コンテスト委員長による優勝者のスピーチの紹介と、優勝者のスピーチ全体のみを含めることができます。

▶ 動画は、文字、グラフィック、画像、または上記の要件を満たさないものなどを追加するなど、いかなる方法でも編集することはできません。

B. 世界本部へのディストリクトからの提出

1. ディストリクトレベルの国際スピーチコンテストの後、審査員長は、すべてのディストリクトレベルコンテスト出場者を結果順に「Notification of Contest Winner form (コンテスト勝者通知用紙) (英語版のみ)」(アイテム 1182)に記し、教育担当ディレクターに提出します。

2. 教育担当ディレクターは、「Notification of Contest Winner form(コンテスト勝者通知用紙)」、「Region Quarterfinals Video Release Form(リージョン準々決勝の動画リリース用紙)(英語版のみ)」、および優勝者の動画を、要求される形式および方法で世界本部に提出します。
- C. リージョン準々決勝は、地域の勝者が提出された後にビデオで行われます。
1. リージョン準々決勝の審査員は、審査員長が定める順序で各自に割り当てられたリージョンの全ビデオを見ます。
 2. リージョン準々決勝の審査員は、1セッションで全てのビデオを観なくてはなりません。
 3. リージョン準々決勝の審査員は、各ビデオを1度だけ見ることができます。一時停止または巻き戻しは禁じられています。
 4. リージョン準々決勝の結果が発表された後、勝者には、世界本部から準決勝コンテストに関する情報が通知されます。
- D. 準決勝は国際大会において開催され、個別の4つのコンテストに無作為に割り当てられた、各リージョン準々決勝コンテストの勝者上位2名が含まれます。
1. 準決勝スピーチコンテスト用のすべての出場者の説明会は、世界本部スタッフが同時に行います。
 2. また、準決勝スピーチコンテスト用のすべての審査員の説明会も世界本部スタッフが同時に行います。
- E. World Championship of Public Speaking (パブリックスピーキング世界チャンピオン大会)の全出場者は、その年の準決勝スピーチコンテストまたは前年の準決勝および最終ラウンドのスピーチコンテストで使用していない、全く異なる新しいスピーチを発表しなければなりません。
1. 国際大会の準決勝レベルに進む勝者は、各自の準決勝スピーチの概要を作成し世界本部へ送信します。以前、準決勝または決勝レベルで競ったことがある出場者は、これらのレベルで発表した全スピーチの概要を世界本部へ提供します。全ての準決勝勝者が提出したスピーチの概要は、パブリックスピーキング世界チャンピオン大会の審査員向け説明会の前、またはその最中に、資格要件審査員に与えられます。
 2. なお、資格要件審査委員には資格審査用紙も提供されます。資格要件審査委員は、パブリックスピーキング世界チャンピオン大会で発表されるスピーチが、準決勝コンテストまたは以前の年の準決勝や決勝コンテストで発表されたスピーチとは異なる、全く新しい内容であるかどうかをこの用紙に記します。
 3. 投票審査員がコンテスト終了時に投票用紙に記入している間に、資格要件審査員は資格審査用紙に記入して署名し、提供された封筒に入れ、投票用紙集計係が回収するまで保管しておきます。
 4. 審査員長が、投票用紙集計室で、すべてのスピーカー資格審査用紙(英語版のみ)を開封して確認します。特定のスピーカーについて、5名の資格要件審査委員のうち3名が失格列に「X」を記入した場合、そのスピーカーは失格となり、またそれについての抗議を行うことはできません。
2. 準決勝、および World Championship of Public Speaking (パブリックスピーキング世界チャンピオン大会)では、コンテスト周期の開始となる前年の7月1日(World Championship of Public Speaking (パブリックスピーキング世界チャンピオン大会)の約14ヶ月前)の時点で有効な規則集に従います。

論評コンテスト規則

論評コンテストでは、本書の「総則」に記載されたすべての規則に従います。また、以下の追加および例外事項が適用されます。

- このコンテストの開始時には、5～7分のテストスピーチが行われます。
 - テストスピーチは、コンテスト形式のスピーチまたは Toastmasters Pathways 学習経験のプロジェクトスピーチでなくてはなりません。
 - テストスピーチ中に準備ノートをとる選択をするコンテスト出場者は、「Evaluation Contestant Notes sheet (論評コンテストノート用紙) (英語版のみ)」(アイテム 1177)を使用する必要があります。複数の用紙を使用できます。
 - コンテストの全レベルで、テストスピーチを行うトーストマスターは、出場者のいずれかと同じクラブの会員ではないことが望ましいです。
 - テストスピーカーの紹介では、スピーカーの氏名、スピーチの題、スピーチの題、スピーカーの氏名が発表される必要があります。
 - テストスピーカーがプロジェクトや目的を持っていても、出場者、審査員長、投票審査員、資格要件審査員、同点決着審査員または聴衆に通知されません。
- 全出場者は、テストスピーチの終了時に部屋から退去しなくてはなりません。その後、論評コンテストノート用紙を使用して論評を準備するため、5分間の時間が与えられます。
 - 計時と準備はコンテスト会場系の監督下で行う必要があります。
 - 出場者が部屋を退去するのが現実的ではない場合、会場系の監督の下、出場者は同じ部屋で5分間の準備を完了します。
 - コンテスト中は公平を期すため、出場者はデジタルまたはその他の機器を使用できません。
- 5分経過後はいかなる準備も認められず、すべての出場者は、論評コンテストノート用紙をコンテスト会場係に手渡します。出場者メモシートは、出場者が自らの評論を発表するために紹介される時に、本人に返却するものとします。
- 出場者の氏名を2回発表することにより、各出場者を紹介します。論評スピーチには題がないため、この点は通常の「名前、スピーチの題、スピーチの題、名前」という形式とは異なるのでご注意ください。

ユーモアスピーチコンテスト規則

ユーモアスピーチコンテストでは、本書の「総則」に記載されたすべての規則に従います。また、以下の追加および例外事項が適用されます。

- ユーモアスピーチのテーマは、出場者が選ぶ必要があります。スピーカーは、好ましくないと思われる言葉遣い、逸話、内容を避けなければなりません。
- スピーチは、本質的にテーマに基づいている必要があります(起承転結)、モノローグ(短いジョークの連続)にはなりません。

テーブルトピックスコンテスト規則

テーブルトピックスコンテストでは、本書の「総則」に記載されたすべての規則に従います。また、以下の追加および例外事項が適用されます。

- すべての出場者は同じトピックを受け取り、その本質は一般的なジャンルであるものとします。
 - トピックは、コンテスト委員長により選択されます。

2. トピックは妥当な長さで、詳細な知識は必要とせず、意見や結論に至るものでなければなりません。
3. 出場者は、コンテスト委員長に紹介されるまでトピックに関する事前の情報を得ることはありません。
4. コンテスト中は公平を期すため、出場者はデジタルまたはその他の機器を使用できません。
5. コンテストが始まると、最初の出場者を除くすべての出場者は部屋を退去するものとなりますが、引き続きコンテスト会場係の監督下に置かれます。
6. 各出場者の紹介では、出場者の氏名とトピックが発表されます。
7. 各スピーチの終了後、次のスピーカーが部屋に招き入れられます。

ほら話コンテスト規則

ほら話コンテストでは、本書の「総則」に記載されたすべての規則に従います。また、以下の追加および例外事項が適用されます。

1. ほら話スピーチのテーマは、大げさでありそうにないもので、テーマやプロットを持たなければなりません。
2. スピーチの補足と例示のため、ユーモアや小道具を使用できます。

ビデオスピーチコンテスト

1. ディストリクトに所属しないクラブ(テリトリアル評議会および暫定ディストリクトを含む)の会員は、ビデオスピーチコンテストに参加できます。ビデオは英語で録画しなければなりません。
- ◆ A. ディストリクトに所属しないクラブの会員が、ディストリクトに所属するクラブにも所属している場合、ビデオスピーチコンテストには出場できません。
2. Toastmasters International スピーチコンテスト規則が適用される限り、それに従うものとします。
 - A. ビデオスピーチコンテストには、エリア、ディビジョン、ディストリクト、または準決勝もなければ、出張手当もありません。
 - B. エントリーするには、クラブがスピーチコンテストを実施して、優勝スピーチの録画ビデオを提出します。
3. 提出できるスピーチの数は1つのクラブにつき1つのみです。
- ◆ A. ビデオスピーチコンテストへのエントリーは、以下の要件を満たす必要があります：
 - ▶ 音声は明瞭で、エコー、静電気、またはその他の過剰なノイズがあってはなりません。
 - ▶ 1台のカメラのみ設定可能で、複数のカメラアングルの使用はできません。
 - ▶ カメラは、出場者を遮るものがなく、焦点の合った状態である必要があります。
 - ▶ 不要な動きを防ぐために、カメラは三脚に取り付けるか、固定しなければなりません。
 - ▶ ズームは使用できません。
 - ▶ スピーキングエリアは十分な照明で照らされている必要があります。

- ▶ スピーカーの顔の表情は、スピーチ全体を通して見えなければならず、映像は明るすぎても暗すぎてもいけません。スピーカーは、スピーチ全体を通して画面に映っている必要があります。
- ▶ 人工光または自然光のいずれかにかかわらず、光が直接カメラに向けられてはなりません。
- ▶ ビデオには、コンテスト委員長による優勝者のスピーチの紹介と、優勝者のスピーチ全体のみを含めることができます。
- ▶ ビデオは、文字、グラフィックス、画像、または上記の要件を満たさないものを追加するなど、いかなる方法でも編集することはできません。
- ◆ B. ビデオスピーチコンテストへのエントリーは、ビデオデータへの有効なURLリンクを含む **Video Speech Contest Entry Form** (アイテム 1178、英語版のみ) を使用して提出しなければなりません。
- ◆ C. ビデオスピーチコンテストへのエントリーには、エントリー用紙とともに、必要事項を記入済みの **Speaker's Certification of Eligibility and Originality** (アイテム 1183、英語版のみ) を含めなければなりません。
- D. 出場参加申込書は、videospoachcontest@toastmasters.org 宛にメールで送付されるものとし、世界本部に3月31日午後5時(米国山岳部時間)必着とします。
- ◆ 4. 1つのコンテストサイクルに提出された適格なビデオが10件を超えた場合は、決選コンテストを別途開催できます。
 - A. 各決選コンテストの出場者は10名以下とします。
 - B. 無理なく実現できる限りにおいて、各決選コンテストの出場者数は同じ数とします。
 - C. 各決選コンテストの上位3名が次のレベルのコンテストに進みます。
- ◆ 5. 各決選コンテストと最終レベルのコンテストにつき、少なくとも5名の投票審査員と1名の同点決着審査員を任命するものとします。
 - A. 投票審査員と同点決着審査員は、国際スピーチコンテストの審査を行うための資格要件を満たしていなければなりません。
 - 1. 投票審査員と同点決着審査員は、ビデオスピーチコンテストの会場に実際に出席するわけではありません。
 - 2. 2代前の国際会長がすべてのビデオスピーチコンテストの審査員長になります。
 - a) 2代前の国際会長が審査員長を務めることができない場合は、第一副会長が別の元国際会長を任命します。
- ◆ B. ビデオスピーチコンテストでは、計時係は任命されません。
 - 1. スピーチの時間はクラブレベルで計測し、ビデオの適格性審査時に確認を受けます。
 - a) 時間に関する要件を満たさないスピーチは審査員長が審査を行います。出場者のスピーチが制限時間を超過している、またはスピーチが短すぎると審査員長が判断した場合、そのビデオの提出は受け付けられません。

スピーチコンテストチェックリスト

スピーチコンテストは周到に計画し、プロ意識を持って取り組む必要があります。各チェックリストの使用は必須ではありませんが、強くお勧めします。

コンテスト委員長用チェックリスト

コンテスト委員長の場合、コンテスト予算の作成、会場と音響設備の準備、コンテスト開催前後の広報・宣伝活動の実施、イベントの全請求書の速やかな支払の確認を行わなければなりません。各スピーカーが出場資格を有してコンテスト規則をよく理解していること、オーディオビジュアル機器が機能していること、審査員長、投票審査員、計時係、集計係に各自の義務を説明したこと、投票用紙が慎重に集計されること、勝者が誇らしく思えるような表彰式で勝者に賞を授与することを確認しなくてはなりません。

各作業を手助けしてくれる委員会を設置した場合でも、作業の完了を確認する責任はコンテスト委員長にあります。

準備

1. コンテストの予算を決定しますが、コンテストの収支が均衡するように配慮します。賞、コンテスト資料、供託金、食事、印刷、郵便などの経費を考慮します。
注:コンテストに参加費がある場合、出場者はその支払いを免除されます。すなわち、出場者に参加費は請求できません。
2. スピーチコンテストの会場と日時を選び、その選択をしかるべき Toastmasters 役員と調整します。
3. コンテストのスケジュールを決めます。
4. コンテストに必要な資材とサービスを手配します。
5. 全出場者へ手渡す出場証明書と入賞者用トロフィーを世界本部へ注文します。
注:世界本部から購入していないスピーチコンテスト用賞品、賞状に Toastmasters ロゴ、または「Toastmasters」もしくは「Toastmasters International」の文字を使用するのは、商標権違反となります。
6. Toastmasters International スピーチコンテスト資料は、www.toastmasters.org から無料でダウンロードできます。
 - ▶ Speaker's Certification of Eligibility and Originality (スピーカーの適格性及び独創性証明書) (英語版のみ) (アイテム 1183)
 - ▶ Speech Contest Time Record Sheet and Instruction for Timers (スピーチコンテスト計時記録用紙と計時係への指示事項) (英語版のみ) (アイテム 1175)
 - ▶ Judge's Guide and Ballot (審査員用手引きおよび投票用紙) (英語版のみ)
 - ▶ Judge's Certification of Eligibility and Code of Ethics (審査員の資格証明書および倫理規定) (英語版のみ) (アイテム 1170)
 - ▶ Counter's Tally Sheet (集計係用集計用紙) (英語版のみ) (アイテム 1176)
 - ▶ Tiebreaking Judge and Ballot (同点決着審査員とその投票用紙) (英語版のみ)
 - ▶ Speech Contestant Profile (スピーチコンテスト出場者紹介用紙) (英語版のみ) (アイテム 1189)
 - ▶ Results Form (結果票) (英語版のみ) (アイテム 1168)

7. 審査員長を選びます。審査員長としての適格性については、本書の「出場資格」を参照してください。
8. コンテストおよびコンテスト前の説明会の時間と場所をコンテスト関係者に通知します(クラブコンテストの場合は2週間など、時間には余裕をもたせます)。
9. コンテスト開催の2～6週間前に、コンテストおよびコンテスト前の説明会の時間と場所を出場者に通知します。その際、各出場者には情報パケットを提供します。
パケットの内容：
 - ▶ *スピーチコンテスト規則集*(アイテム JP1171)
 - ▶ *Speech Contestant Profile* (スピーチコンテスト出場者紹介用紙) (英語版のみ) (アイテム 1189)
 - ▶ *Speaker's Certification of Eligibility and Originality* (スピーカーの適格性及び独創性証明書) (英語版のみ) (アイテム 1183)
10. メディアにニュースリリースを送り、コンテストを地域に宣伝します。
11. コンテスト開催前に各出場者がコンテスト規則に基づき出場資格があることを確認し、必要に応じて出場者に失格を通知します。出場者の出場資格の確認方法：
 - ▶ クラブ役員およびディストリクトリーダーは、コンテスト出場者が会費納入済みクラブの会費納入済み会員であるか、または現ディストリクトリーダーであるかの確認のため、www.toastmasters.org の「Leadership Central (リーダーシップセンター) (英語版のみ)」で利用可能な資格チェック機能を使用することができます。
 - ▶ お問い合わせはメールでスピーチコンテストチーム世界本部 (speechcontests@toastmasters.org)までお願いします。

出場者用説明会

- ◆ 1. 全出場者の出席とそれぞれの氏名の発音を確認します。注：また、すべての投票用紙が回収された後で、各出場者に非公式の簡単なインタビューを実施します。
- 2. 出場者と一緒にスピーチコンテスト規則を確認します。
- 3. 「Speaker's Certification of Eligibility and Originality (スピーカーの適格性及び独創性証明書) (英語版のみ)」(アイテム 1183)を確認します。この用紙に署名すると、出場資格と独創性に関する規則を読んで理解したことの証明になる旨を出場者に説明します。
- 4. 出場者と一緒に計時規定を確認します。
- 5. 出場者に正確なスピーキングエリア(演台、テーブル、照明、マイクなど)を説明します。全出場者には、コンテスト開催前にマイクをテストする機会が与えられなくてはなりません。
- 6. スピーチの順番を抽選します。

コンテスト開催中

1. 簡単な説明をしてコンテストを開会します。聴衆に以下の事項を伝えます。
 - ▶ 規則を審査員長と出場者が確認済みであること。
 - ▶ 出場者には計時信号の位置を説明済みであること。
 - ▶ スピーチ中の写真撮影は禁止であること。
- ◆ ▶ スピーチのトピックは、各出場者が自ら選択したものであること。スピーチによっては、内容が個人的な性質のもので、一部の聴衆の気に障る言葉、考えや信条が含まれている可能性があります。

2. 各コンテスト出場者を紹介します。スピーカーやスピーチのテーマに関する前置きをしたり、スピーカーのクラブの名前や所在地、または住所を話題に出さないでください。各出場者をゆっくりはっきりと紹介します。
3. スピーチの完了時、投票審査員および同点決着審査員に投票用紙に記入するよう伝えます。その際、集計係は投票審査員の投票用紙を回収し、審査員長は計時係から時間記録用紙を回収し確認するとともに、同点決着審査員から投票用紙を回収します。すべての投票用紙と時間記録用紙を回収したら、審査員長と投票用紙集計係は投票用紙集計室に入ります。
 - ▶ すべての投票用紙、集計係用集計用紙、および時間記録用紙は機密情報とみなされます。
 - ▶ すべての用紙を処分のため審査員長に渡します。
 - ▶ 優勝者または次点者が次のレベルに出場できない場合に備え、全出場者の順位を示すリストを保管します。
4. 投票用紙集計係が投票用紙の集計中、コンテスト委員長は各スピーカーにインタビューします。
 - ▶ コンテストスピーチが終わり結果が集計されている間に、もう一度出場者を紹介し、それぞれが代表するクラブ、エリア、およびディビジョンを示し、出場証明書を授与します。その際、出場者の自己紹介用紙をガイドとして使用し、短いインタビューを実施するのも良いでしょう。
5. インタビューが完了したら、審査員長からコンテスト結果を回収します。
6. 抗議があれば対処します。抗議ができるのは投票審査員および出場者に限定されます。審査員長、コンテスト委員長、投票審査員、および出場者は、聴衆から出る可能性のある抗議を考慮してはいけません。抗議がある場合は、優勝者と入賞者の発表前に審査員長および/またはコンテスト委員長に申し立てる必要があります。コンテスト委員長は、大会の終了を宣言する前に独創性または出場資格に関する失格を該当する出場者に通知するものとします。コンテスト委員長は、大会の終了を宣言する前に、独創性または出場資格に関する失格を該当する出場者に通知しなくてはなりません。失格の決定には、投票審査員の半数以上が同意する必要があります。コンテスト委員長は、出場資格に基づいて出場者を失格にできます。
7. 結果を発表する前に、コンテスト委員長は時間超過による失格が起こったかどうかを発表する必要があります。ただし、時間超過失格に該当する出場者の氏名は発表しません。審査員長は、失格の出場者と個人的に話すことができます。
8. 閉会に際し、すべてのコンテスト運営協力者に謝辞を述べます。

コンテスト開催後

1. 審査員長が^g Notification of Contest Winner (アイテム 1182、英語版のみ)に記入できるよう、全出場者の連絡先情報を審査員長に提供します。審査員長がこの用紙を次のレベルのコンテスト審査員長またはディストリクトレベルの国際スピーチコンテストの場合は、世界本部に提供したことを確認します。
2. ニュースリリース(および写真がある場合はそれも添えて)を各勝者のコミュニティ新聞と会社の広報部に向けて送ります(該当する場合)。
3. コンテストに関するすべての請求が速やかに支払われたことを確認します。

審査員長用チェックリスト

コンテスト開催前

1. 投票審査員、集計係、計時係、および秘密の同点決着審査員（1名）を指名して協議します。
2. 集計係長としての役割を果たし、各集計係に Counter's Tally Sheet(アイテム 1176、英語版のみ)を配布します。
3. すべてのスピーチコンテスト関係者に www.toastmasters.org/Leadership-Central/Speech-Contests/Speech-Contest-Tutorials でオンラインのスピーチ コンテストトレーニングを視聴することを勧めます。
4. 投票審査員、集計係、および計時係のために審査員向け説明会を実施します。

審査員用説明会チェックリスト

1. 各投票審査員に以下の資料を配布します:
 - ▶ スピーチ順の出場者リスト
 - ▶ 審査員用手引きおよび投票用紙
 - ▶ *スピーチコンテスト規則集*(アイテム JP1171)
 - ▶ Judge's Certification of Eligibility and Code of Ethics(審査員の資格および倫理規定に関する証明書)(英語版のみ)(アイテム 1170)
- ◆ 2. 外部の喧騒または装置の機能不良に備え、コンテストエリアの近くに座るよう、審査員全員に指示します。
3. 審査員用手引きおよび投票用紙とスピーキングエリアを確認します。
4. 投票用紙集計係に、「Counter's Tally Sheet(集計係用集計用紙)(英語版のみ)」(アイテム 1176)の使い方を簡単に説明します。
5. 計時係と一緒に「Speech Contest Time Record Sheet and Instruction for Timers(スピーチコンテスト計時記録用紙と計時係への指示事項)(英語版のみ)」(アイテム 1175)を確認します。
6. 計時係にストップウォッチを提供します。
7. 必要に応じて、計時装置の適切な使い方を計時係に簡単に説明します。

コンテスト開催中

1. 計時係から「Speech Contest Time Record Sheet and Instruction for Timers(スピーチコンテスト計時記録用紙と計時係への指示事項)(英語版のみ)」(アイテム 1175)を回収します。
2. 同点決着審査員から同点決着審査員のガイドと投票用紙を回収します。
3. 出場資格または独創性の抗議が生じた場合はそれを解決します。
4. 集計過程を監督します。正確を期すため、すべての投票用紙を2回集計したことを確認します。
5. 全出場者の順位を示すリストをコンテスト委員長に提供します。

出場者用チェックリスト

コンテスト開催前

1. 国際、ユーモア、およびほら話コンテストの場合、トピックを選んで相当程度独創的な自分のスピーチを準備します。
2. 出場者向け説明会に出席します。
3. 使用予定の小道具をコンテスト委員長に伝えます。
4. 「Speaker's Certification of Eligibility and Originality (スピーカーの適格性及び独創性証明書)(英語版のみ)」(アイテム 1183)を確認します。この用紙に署名すると、出場資格と独創性に関する規則を読んで理解したことの証明になります。
5. 出場者用のリハーサルに出席し、スピーキングエリアに留意しておきます。

コンテスト開催中

1. 出場者紹介を受ける直前の1分間の沈黙時間中に、すべての小道具と視覚器材をセットアップします。誰かにこの作業の手伝いを頼むことはできませんが、コンテスト委員長やその他のコンテスト役員には手伝う義務はありません。
2. 紹介されたら、速やかにスピーキングエリアへ進んでスピーチを開始します。
3. スピーチ中は計時シグナルを定期的を確認します。赤のシグナルを確認したら、スピーチをまだ終了していない場合でも素早くまとめたいえ終了します。
4. スピーチの直後、小道具または視覚器材をスピーキングエリアから撤去します。誰かにこの作業の手伝いを頼むことはできませんが、コンテスト委員長やその他のコンテスト役員には手伝う義務はありません。

スピーチコンテスト資料

- ◆ スピーチコンテスト資料は、<https://www.toastmasters.org/Speech-Contest-Kits> で無料のデジタルコンテンツとしてダウンロードできます。

全コンテスト用

役割	アイテム	アイテム番号
全参加者	スピーチコンテスト規則集	(アイテムJP1171)
審査員長	Notification of Contest Winner (コンテスト勝者通知用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1182)
	Results Form (結果票) (英語版のみ)	(アイテム 1168)
投票審査員および同 点決着審査員	Judge's Certification of Eligibility and Code of Ethics (審査員の資格 証明書および倫理規定) (英語版のみ)	(アイテム 1170)
集計係	Counter's Tally Sheet (集計係用集 計用紙)(英語版のみ)	(アイテム 1176)
計時係	Speech Contest Time Record Sheet and Instruction for Timers (スピーチコンテスト計時記録用紙 と計時係への指示事項) (英語版のみ)	(アイテム 1175)
出場者	Speaker's Certification of Eligibility and Originality (スピーカー の適格性及び独創性証明書) (英語版のみ)	(アイテム 1183)
	Speech Contestant Profile (スピーチコンテスト出場者紹介用 紙)(英語版のみ)	(アイテム 1189)

国際スピーチコンテスト

役割	アイテム	アイテム番号
投票審査員	International Speech Contest Judge's Guide and Ballot (国際スピーチコンテスト審査員用 手引きと投票用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1172)
同点決着審査員	International Speech Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (国際スピーチコンテスト同点 決着審査員用 手引きと投票用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1188)
出場者	Region Quarterfinals Video Release Form (リージョン準々決勝の動画リ リース用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1193)

論評コンテスト

役割	アイテム	アイテム番号
投票審査員	Evaluation Contest Judge's Guide and Ballot (論評コンテスト 審査員用 手引きと投票用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1179)
同点決着審査員	Evaluation Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (論評コンテスト同点決着審査員用 手引きと投票用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1179A)
出場者	Evaluation Contestant Notes Sheet (論評コンテストノート用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1177)

ユーモアスピーチコンテスト

役割	アイテム	アイテム番号
投票審査員	Humorous Speech Contest Judge's Guide and Ballot (ユーモアスピー チコンテスト審査員用 手引きと投票 用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1191)
同点決着審査員	Humorous Speech Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (ユーモアスピーチコンテスト 同点決着審査員用 手引きと投票用 紙) (英語版のみ)	(アイテム 1191A)

テーブルトピックスコンテスト

役割	アイテム	アイテム番号
投票審査員	Table Topics Contest Judge's Guide and Ballot (テーブルトピックスコンテスト審査員用引きと投票用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1180)
同点決着審査員	Table Topics Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (テーブルトピックスコンテスト同点決着審査員用引きと投票用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1180A)

ほら話コンテスト

役割	アイテム	アイテム番号
投票審査員	Tall Tales Contest Judge's Guide and Ballot (ほら話コンテスト審査員用引きと投票用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1181)
同点決着審査員	Tall Tales Contest Tiebreaking Judge's Guide and Ballot (ほら話コンテスト同点決着審査員用引きと投票用紙) (英語版のみ)	(アイテム 1181A)

追加リソース

スピーチ コンテスト FAQ

www.toastmasters.org/SpeechContestFAQ

スピーチ コンテスト チュートリアル

www.toastmasters.org/Leadership-Central/Speech-Contests/Speech-Contest-Tutorials

Policy 6.0: Speech Contests (ポリシー6.0: スピーチコンテスト)

www.toastmasters.org/Leadership-Central/Governing-Documents

TOASTMASTERS
INTERNATIONAL

アイテム JP1171